

1. HJ1.豊かな遊びと安全 【川辺尚子講師】

問題	子どもの遊びが危険だと感じたときに、どのような点に気を付けて保育を展開するとよいでしょう。講座で学んだことをふまえて考えを書きましょう。
回答例	命の危険、大きなけがの不安がない限りは、すぐに止めず、その遊びのリスクとリターンを読み取り、その中で育ちとして大切な点をふまえて、その遊びを尊重しつつ、代替えできるものを探したり、場を変えたりするなどして、できるだけ遊びが継続できるようにしたい。

2. HJ2.身体を使った遊び1 【吉田伊津美講師】

問題	保育所保育指針・幼稚園教育要領等(平成29年告示)の領域健康(健やかに伸び伸びと育つ)において、運動(動き)に関する事項はねらいや内容にどのように位置づけられているか述べてください。またそれを踏まえ、身体を使った遊び(運動遊び)の望ましい指導について述べてください。
回答例	指針等の位置づけ:乳児期から幼児期のいずれかの時期における具体的な文言を用いた説明、または発達の観点から乳児期から幼児期(小学校低学年)までを通した位置づけやつながりのいずれかの説明をしていること(講座1)。 望ましい指導:遊びとしての指導(講座4)、動きを引き出す援助(講座3)に関する内容に触れて述べられていること。

3. HJ3.身体を使った遊び2 【久津摩英子講師】

問題	「たまげた こまげた」の中で、お手玉の良さについてどのように話していますか
回答例	・触る、投げる、飛ばす等いろいろな遊び方ができ、当たっても痛くない ・頭の上や肩などに乗せて遊ぶこともできる ・おにぎり型にすると、0歳児でもつかみやすい ・ままごとでも使える →上記など、2~3個書けていれば○

4. HJ4.言葉・音楽を使った遊び1 【吉永早苗講師】

問題	「抑揚はことばよりもいつわることが少ない」(ルソー)について、この文章が意味している内容及び保育者として大切にしたいことについて、乳幼児の発達に即して具体的に述べてください。
回答例	音声の抑揚には、意図や感情が表れる。乳児にとって、保育者との音声のやりとりは、感情や語彙の獲得の機会になっているので、応答的な語りかけや歌いかけを大切にしたい。また、音声情報の獲得は年齢とともに正確さを増し、話者がどのような気持ちであるのかを音声の表情から察し、子ども自身も音声に自分の気持ちを込めて発するようになる。温かく受容的な声の表情によってもまた、子どもの自己肯定感が育まれることを意識しておきたい。

5. HJ5.言葉・音楽を使った遊び2 【野口隆子講師】

問題	①子どもの発達によって、絵本の楽しみ方や理解はどのように変化するでしょうか。乳児期(3歳未満頃まで)、幼児期(3歳以上から就学前まで)、児童期以降、でまとめてみましょう。
回答例	①講座1「保育における絵本」で示した内容(資料スライドの5~10でまとめた保育所保育指針の記載、資料スライド13~15)、まとめ(資料スライド19)などからポイントをまとめられているとよい。

6. HJ6.物を使った遊び1 【花原幹夫講師】

問題	感性について、どういう気持ちや感じなのかの具体的なキーワードを述べてください。
回答例	「楽しい」、「気持ちいい」、「美しい」、「不思議だな」、「変だな」、「嫌だな」のキーワードの2つ以上が示されていればOKです。

7. HJ7.物を使った遊び2 【松本信吾講師】

問題	本講座を通して学んだ、次の2点について記述してください。 ①自然の意味や自然についての考え方に関して述べよ。 ②自然に関して、明日から自分の保育で実践したいことについて述べよ。
回答例	①自然の多様さ、遊び込みやすさ、かかわりやすさ、保育観を見直すもの、などのことについて、自分が考えて消化した言葉で言及していることが望ましい。 ②回答者の置かれている環境に合わせて、学んだことをもとに、実現可能なことを具体的に記述できることが望ましい。